



年始挨拶の行動で2016年安倍政治を許さない市民運動をいっそう広げる訴えをしました。「戦争法廃止」署名を取り組み、たくさんの賛同を得ました。(1/4市役所前)

平和がいちばん

2016年1月15日

第103号

平和で豊かな枚方を

市民みんなで作る会

憲法を壊す勢力は退場！

通常国会が始まり、安倍首相は「憲法改正」への強い意欲を示しました。昨年、安倍政権は憲法破壊の戦争法を強行成立させ、執拗に憲法改悪を狙っています。夏に参議院選挙もある今年は憲法を壊す勢力との全面的な闘いの年です。特に注意しなければならないのが、自公政権のパートナーの役割を明らかにした「おおさか維新の会」です。橋下元代表は「参院選で三分の二を達成すれば、いよいよ憲法改正」と騒いでいます。このような憲法破壊勢力に負けるわけにはいきません。憲法に基づく政治を行い、平和主義をどこでも貫き、民主主義を何より大切にする社会にしなければなりません。運動を選挙共闘だけに狭めずに、「安倍政治は許さない」大きな市民運動が求められています。

そのために『戦争法は廃止』2000万署名を広げましょう。国民の過半数が戦争法に反対し「無茶苦茶採決」を認めていません。多くの憲法学者が「憲

法違反」と断じています。毎月19日国会を包囲し続ける反対運動が続けられ、若い人が全国各地で立ち上がっています。この署名は安倍政権を大きく包囲するものです。各団体での取り組みが進んでいます。私たちも街頭や近所・職場で広がっていきます。

沖縄辺野古での新基地建設を阻止しましょう。米軍と自衛隊の共用基地として計画されている新軍事基地は集団的自衛権行使のための基地です。戦争法を具体的に運用するための最新鋭の基地です。美しい自然を破壊する暴挙です。暴力で工事を強行する安倍自公政権は許せません。翁長知事を先頭に沖縄の人々は戦争につながる基地は絶対に認められないと身体を張った闘いを続けています。アメリカ国内でも辺野古基地建設に反対する議会決議が上がってきています。名護市は枚方市の友好都市です。枚方市議会が「基地建設反対の意見書」採択するよう、市民の運動を強めます。

投稿

「指定管理者制度」に反対 井上由美

枚方市立図書館・生涯学習市民センターへの指定管理者制度導入の準備が進んでいる。今年四月から六館のうち牧野、蹉跎の二館に先行導入が決まった。一階が図書館、二階が生涯学習センターの窓口を一本化するという。一昨年に市が発表してから市民への意見聴取会や社会教育委員会でも慎重論、反対意見が多く出たにもかかわらず、そういう意見は聞き流すかのように足早に進められてきた。指定管理者制度とは、市が設置した施設の運営を民間会社やNPOなどに委ねるといふもので、ここ十年ほど全国で公的施設への導入が広がってきている。しかし図書館や教育施設には営利が目的の民間はなじまないという慎重論が根強く、いまだ設置自治体数の一六％、図書館数では一五％にとどまっている。図書館・公民館行政、社会教育の先駆的都市として有名だった枚方でこの制度を導入するといふのだ。目的は「効率化してサービソ向上、民間ノウハウの活用」とされているが、効率化するのは働く人の使い方、雇い方のところだ。指定管理会社には雇用される人達は正規が少なく非正規がほとんど、最高五年の期限付きで給料は安く不安定な身分。図書館には司書など専門職員による計画的、長期的視野にたつた働きが求められるがそれが難しくなる。図書館の役割は地域の一人ひとりのニーズに丁寧に応えるサービソ（相談、選書）や本・資料などの蔵書の収集・管理など重要なものがある。また生涯学習市民センターには市職員と市民がつくる活動委員会があり年間通した様々な文化の催しを行っている。このような市民の知の拠点、文化、交流の拠点から市の職員を引き上げてほんとうにその内容、発展に責任がもてるのだろうか。文化や教育にかけるお金を削っていく道は豊かな成熟した町にはつながらない。止めたいと強く思う。



- 12月17日 **本会議で一般質問に立つ** 毎日のことだが今回も私が最後。会派に属していないからと、いつも最後と決められていることもおかしな慣習だ。どの議員にも公平な発言順番の決め方があるはず。会派の壁は厚いが改革の必要がある。
- 12月19日 **冬の全交集會に参加** 辺野古現地から上間芳子さんが参加。連日、数百の人がキャンプシュワブ前に座り込んでいる。権力は様々な手を使って「もう決まったことだ。何を言っても変わらない。闘っても無駄だ」と民衆を諦めさせようとする。「負けない方法は諦めないこと。ずーと勝つまで諦めないこと」現地の合言葉だそうだ。その通りだ。勇気をもらおう。上間さんは全国から辺野古現地での座りこみに参加して欲しいとアピールされた。1月下旬に辺野古現地に行く予定。
- 12月21日 **市議会本会議最終日** 辺野古への新基地建設反対の意見書が提案された。私は賛成討論をおこなった。辺野古新基地反対は、米国のパークレー市議会やケンブリッジ市議会で決議され、ホノルル市でも決議される見込み。運動は米国にも広がりつつある。残念ながら、枚方市では意見書は否決されたが、今後とも枚方から声を上げ続ける。
- 12月25日 **香里中央公園でのミーティングに参加** アラカシの森の一部で草刈が行なわれ、竹中工務店の工事予定の看板がはずされた。市民の声や議会での発言が事態を少し動かした。しかし森はフェンスで囲まれたままで、見守り活動は継続することを確認した。
- 1月4日 **戦争法廃止 2000万人署名の宣伝行動** 昼間は枚方市役所前緑道で街頭行動、夜は大阪市中之島で集会、西梅田までのデモに参加。自民党の誰かが「年をこして餅を食べたら忘れる」と、国民を馬鹿にした発言をした。「餅を食っても忘れない」「戦争法廃止」「安倍退陣」の声、市役所前や梅田界隈に響いた。今年こそ、国民無視、暴走安倍内閣を退陣に追い込もう。
- 12月21日 12月期末手当から692,431円、12月分議員報酬から246,127円を大阪法務局に供託

投稿

番号カードは私たちが監視する

佐藤 謙司

「(個人番号カード)なぜ『反対』なの? 普通の庶民に何の問題もないんじゃない?」と聞かれる。

「個人番号カード」の活用はどこまで考えられているか。法律改正などの手続きは必要だが、個人カードをカード決済やポイントカードとしても使えるようにする、医療・介護施設等の中での情報の管理・連携に使う、また図書館カードとしても使うなど、12桁の番号一つで私の懐具合も健康状態も、さらにはどこへ行き何を食べたか、どの本を読んだかまで把握しようとすればできるように構想されている。

日本医師会はマイナンバーと医療情報の結合に反対をしている。HPでは「医療情報は極めて機微性が高く、万が一医療行為の情報が漏れてしまった場合には取り返しのつかないことになる」。そして「これからの医療は遺伝子情報が中核となってくるが、究極の個人情報である遺伝子情報が漏れれば、将来的な病気の

予測などが、差別や人権侵害につながりかねない。優生医療の拡大のおそれもある」などと危惧している。

「公正・公平な社会の実現」を標榜し、収入・資産を厳格に把握するのであれば、徴収も公正に、人らしく生きるための保障も公平に行われる社会でなければならない。しかし生活を援助するデータとして利用することは全く想定外。例えば生活保護の捕捉率は20%程度と言われている。つまり生活保護基準以下の低所得者のうち受給していない人が概算で800万人にもなる。貯金が基準を一円でも上回っていたら負担増など徴収する根拠には厳しく適用されるが、最低生活の保障はこれまで通り本人が「HELP!」と言わない限り放置する。さらに低賃金の非正規雇用は放置したまま。こんな社会は不公正そのものだ。

「番号カード」は私を監視し収奪するための道具でしかない。

〒573-0027

枚方市大垣内町

2丁目8-27

シンエービル別館A

市民の広場“ひこばえ”

TEL&FAX

072-846-8780

平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 黒田 薫 (平和都市枚方を考える市民の会)

鈴木めぐみ (親と子のリズム遊び講師)

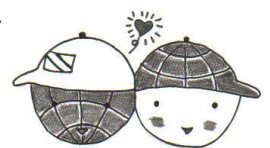
奥村 秀二 (弁護士)

おおた幸世 (枚方市平和無防備条例を実現する会)

事務局長 手塚 隆寛 (枚方市議員)

メールアドレス: hiratkatasiminokai@yahoo.co.jp

ホームページ: <http://hiratkatasiminokai.jimdo.com/>



「会」のシンボルマーク

塔本賢一さん作